



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年1月25日 No.274

シリーズ2021春闘①

東日本ユニオンの取り組み

3本柱

①賃金引き上げを求める取り組み

②赤字下における企業活動などの点検行動

③コロナ禍における労働環境の点検行動と改善する取り組み

★賃金引き上げを求める取り組み

賃金引き上げの取り組みは、労働者として労働力商品を経営側に高く売る闘いです。

私たち東日本ユニオンは、J R労働者の労働力の質（価値）に見合った賃金引き上げ要求を柱に、生活水準の向上にむけた取り組みを進めていきます。

○「安全・安定輸送の完遂」「社会的使命」を果たしていることなどを訴えよう！

当社の最重要課題および社会的使命は鉄道の「安全・安定輸送」です。今年度もお客さまが死傷するなど、社会的な信用・信頼を失墜させるような重大事故、あるいは不祥事を発生させていません。さらに政府による「緊急事態宣言」が2度も発令された中であっても、公共交通機関としての使命と役割を果たし続けています。

○様々な会社施策と日々の業務を担い、会社の持続的成長にむけた努力などを訴えよう！

私たちは日々の業務を確実に遂行しているだけでなく、台風や豪雨、雪害などの自然災害にも的確に対応する努力を重ねています。さらに様々な会社施策のほか「質の高いサービスの提供」はもとより「コロナ対策」という新たな課題をも担い、赤字業績の改善にむけて奮闘しています。今まさにJ R労働者一人ひとりが、会社の持続的成長を実現させる目標に向き合って成長するための努力をしているのです。

来年度の黒字化にむけては、新型コロナウイルス感染拡大の収束だけでなく、私たちJ R労働者の「働きがい」と「納得できる働き方」が必須といえます。

○業務環境の変化に伴う生計費負担増と、期末手当の低額回答による収入減などを訴えよう！

期末手当が大きく減額され、収入が昨年よりも大幅に減らされました。さらに、感染拡大防止を目的とした自宅待機やテレワークの実施により、光熱費や通信費などをJ R労働者が自己負担している現実もあります。また、配偶者の収入減や各学校の休校、リモート授業の推進などに伴って、生計費への負担も増加しています。

年末手当妥結時の決意と想いを春闘のスタートにしよう！